



にじのはし幼稚園 園だより



令和5年11月号
港区立にじのはし幼稚園
園長 石川典子

レインボー公園からキンモクセイの香りが漂ってきます。幼少期から好きだったこの香りに、時を経ても、毎年、秋の始まりの“ちいさい秋”を感じます。住む場所や景色が変わっても、「香り」が原体験や原風景を思い出させてくれます。

今年豊作のにじっこ池の隣のミカンと、実がたわわになり重みで枝が垂れているカキの木も、本園のちいさい秋です。カキの木の下を通る子どもたちは、「すごくいっぱいある」と、葉っぱと同じ色をしていた時には目立たなかったカキの色付きに、実が多いことに気づき、驚いています。

5月に年長児が植えたサツマイモの苗は、年長児が毎日水を掛けて大切に育て、暑い夏を乗り越え、ぐんぐん成長しました。「そろそろ芋掘りができそう」と、年長児は楽しみにしています。みんなで力を合わせてイモの蔓を引っ張り、イモを掘り出します。年長児は「サツマイモをどうやって食べるか」を学級の友達と相談します。年少児・年中児にもおすそ分けをして、全園児で秋の味覚を楽しみます。

現代は一年中色々な食材を食べることができますが、食べることを大切に、季節による食材の違いや旬のおいしさなどを感じると味覚が育ちます。生活の中で特定の匂いや味のみに限られた環境の中で過ごしていると、感覚刺激が減少し、臭覚や味覚の偏りにつながります。様々な匂いや味に触れる体験は、子どもたちの諸感覚を刺激します。

収穫の秋です。ご家庭でお子さんと一緒に季節のものをおいしく味わってください。子どもたちは食に係ることが大好きですから、一緒に調理をすることも子どもにとって楽しい体験となります。家庭での食卓は子どもたちの心を温め、心を豊かにしていきます。食する喜びを感じ、やがて食べ物や食べ物を作った方に感謝の気持ちを持ちます。

今月は、深まりゆく秋の自然に子どもたちが十分に触れながら、様々な心を揺らす体験ができるようにしていきます。一人ひとりの原体験・原風景につながり、幼児期の楽しく幸せな気持ちが心に刻まれ、幸福感のある人へと成長して欲しいと思います。

幼稚園経営計画 今年度の主な取り組みからの抜粋

(4)教材や行事を工夫し、心動く体験へとつなげ、豊かな学びを保障します。

- ⑦季節の自然や生き物との出会いを、幼児の豊かな体験や学びにつなげるため、野菜や遊びに使える草花の栽培やにじっこ池(ビオトープ)の整備などを、意図的・計画的に行います。

